



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

令和4年7月7日 第10号

発行者：校長 菅野 定行



(学校 HP)

1年コミュニケーショントレーニング

7月5日(火)6・7校時「総合的な探究の時間」に「トークフォークダンス」を行いました。「対話」の練習と、自分と他の人の考えの違いを理解することを目的に、二重の輪を作り1対1で出されるお題に基づいて対話し、お題ごとに相手が入れ替わります。約20名の社会人をお招きして、普段あまり話することがない家族以外の大人の考えを聞きました。また対話が自分にとってどのような効果があるのか、初対面の人と話すことの大切さなどを知り、今後の探究学習等につながる有意義な活動となりました。



授業実践 ～「情報Ⅰ」～

7月4日(月)1校時、尾形大先生による長期研修に係る授業実践が1年1組で行われました。

尾形先生は、本年度「1人1台端末を活用したプログラミング教育の授業改善について-ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現を目指して-」を研究主題とした長期研修に取り組んでいます。今回の授業では、生徒全員がiPadを利用し、プログラミングの基本操作について学習しました。



LHR ～7/1(金)～

【2年保健講話「ストレスマネジメント」】

SC村山宙子先生から、上手な気分転換の仕方や必要に応じたカウンセリングの活用等について講話をいただきました。生徒たちは最近あった「よかったこと」「落ち着く場所」等について考えながら、自分に合ったストレス対処法を考えるきっかけになりました。



【3年進路ガイダンス】

進路支援部小井土先生による進路ガイダンスがあり、希望進路達成のための今後の動き等を再確認しました。

就職・進学問わず、進路実現に向けた計画を立てて、それぞれの目標に向かって努力してほしいと思います。



東松島シンポジウム

6月25日(土) いろどりの丘(野蒜ヶ丘)で、東北大学が代表機関、東松島市が幹事自治体を務める「美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点(共創の場形成支援プログラム)」に係るシンポジウムが開催されました。

午後の第2部「わかものたちと語る未来」をテーマにディスカッションが行われ、参画機関の事業所(伊勢志摩冷凍、アイザワ水産)等や大学生、三重県の高校生(宇治山田商業高校、三重水産高校)と、本校2年の遠藤則晴君、吉田萌恵さんが参加しました。東北大学の三橋先生をファシリテーターに、東松島や伊勢志摩の環境問題や食糧問題、持続可能な社会について考え、意見を交わしました。

